

第8回日本海ブロック資源研究会 プログラム

【ミニシンポジウム】

底びき網漁業における漁具の改良とその普及

趣旨説明

廣瀬太郎（日本海区水産研究所）

1. 「越前網」の開発と普及 ～ ズワイガニを海中で逃がす網 ～
橋本 寛（福井県水産試験場）
2. 駆け廻し式底曳網におけるズワイガニとアカガレイの分離
○宮嶋俊明・亀井寿敏・青木洋一（京都府海洋センター）
3. 駆け廻し網離底グランドロープ（吊り岩）の調整と
資源管理型漁具改良への応用の可能性
○大谷徹也・尾崎為雄（兵庫県但馬水産技術センター）
4. 小型底びき網漁業（かけまわし）における省人・省力化漁具の開発
○斉藤 哲・貞安一廣・高橋晃介・越智洋介（開発調査センター）
5. 適正サイズのタイ類を漁獲する小型底曳網
○藤田 薫・長谷川誠三（水産工学研究所）
6. 日本海と漁業者にやさしい底びき網を目指して
-新潟県の筒石漁港における試み-
○藤原邦浩・廣瀬太郎（日本海区水産研究所）

自由討論

自由課題

1. 耳石日輪による日本海南西海域に加入するマアジ稚魚のふ化日組成と成長
田 永軍（日本海区水産研究所）
2. 境港に水揚げされた太平洋クロマグロ (*Thunnus orientalis*) における有効サンプル数を用いた体長計測手法提言とその実践結果評価
○芝野あゆみ・金岩 稔（東京農業大学）、
氏 良介・石原幸雄・志村 健（鳥取県水産試験場）、
竹内幸夫（遠洋水産研究所）
3. 漁獲成績報告書を図にして混獲について考える
○原田泰志・井上祐里奈（三重大学大学院）、養松郁子（日本海区水産研究所）
4. 漁獲成績報告書と調査船調査からみた資源動向の対応
-日本海におけるズワイガニについて-
○井上祐里奈・原田泰志（三重大学大学院）、金岩 稔（東京農業大学）、
上田祐司・養松郁子・木下貴裕（日本海区水産研究所）

5. 日本海底びき網漁業対象資源の動向把握手法の検討
○馬場真大・井上祐里奈・井上誠章・原田泰志（三重大学大学院）、
藤原邦浩・廣瀬太郎・養松郁子（日本海区水産研究所）
6. 韓国船バイ籠漁業によるベニズワイ混獲の可能性とその防止策の検討
○養松郁子・廣瀬太郎・藤原邦浩・後藤常夫（日本海区水産研究所）、
白井 滋（東京農業大学）
7. マダラの卓越年級群発生に伴う石川県底びき網漁業の漁獲動向と
若齢魚漁獲の影響
○後藤常夫（日本海区水産研究所）、木本昭紀（石川県水産総合センター）

ポ ス タ ー 課 題

1. 有明海における仔稚魚群集の水域間比較
八木佑太（日本海区水産研究所）、木下 泉（高知大学海洋研セ）、
藤田真二（西日本科学技術研究所）、川村嘉応（佐賀県有明水産振興センター）
2. 日本海南西部におけるエチゼンクラゲ *Nemopilema nomurai* の分布と傘径組成
北島 聡・奥野 章・井口直樹・本多直人・渡邊達郎・
高山勝巳・加藤 修（日本海区水産研究所）
3. 計量魚群探知機による *Neocalanus* 属カイアシ類のモニタリング
松倉隆一（日本海区水産研究所）
4. ミズガニを獲らなかつたらズワイガニ資源はどうなっていたのか？
上田祐司・木下貴裕（日本海区水産研究所）
5. 「我が国周辺水域資源調査推進委託事業」資源動向要因分析調査 主要政成果概要
水産総合研究センター（代表：木所英昭（日本海区水産研究所））